

# 令和元年度大阪府民経済計算にみる 大阪府の医療・福祉

大阪府総務部統計課情報企画グループ

# 大阪府民経済計算とは？

- ✓ 大阪府内で各産業の生産活動によって1年間に生み出された価値(付加価値)を推計した統計 = **大阪府版GDP統計**
- ✓ 経済成長率(=大阪府GDPの対前年度増加率)が分かる
- ✓ 他県や他国と比較可能
- ✓ 年1回公表(ただし、年度終了から約2年後に公表)
  - ➡ 最新版は令和元年度

# 令和元年度結果の概要

## 大阪府のGDP

・ 41兆1,884億円(東京都に次ぐ第2位)

## GDPの全国シェア

・ 7.4%

## 名目経済成長率

・ マイナス0.8%(7年ぶりのマイナス)

## 実質経済成長率

・ マイナス1.5%(2年連続のマイナス)

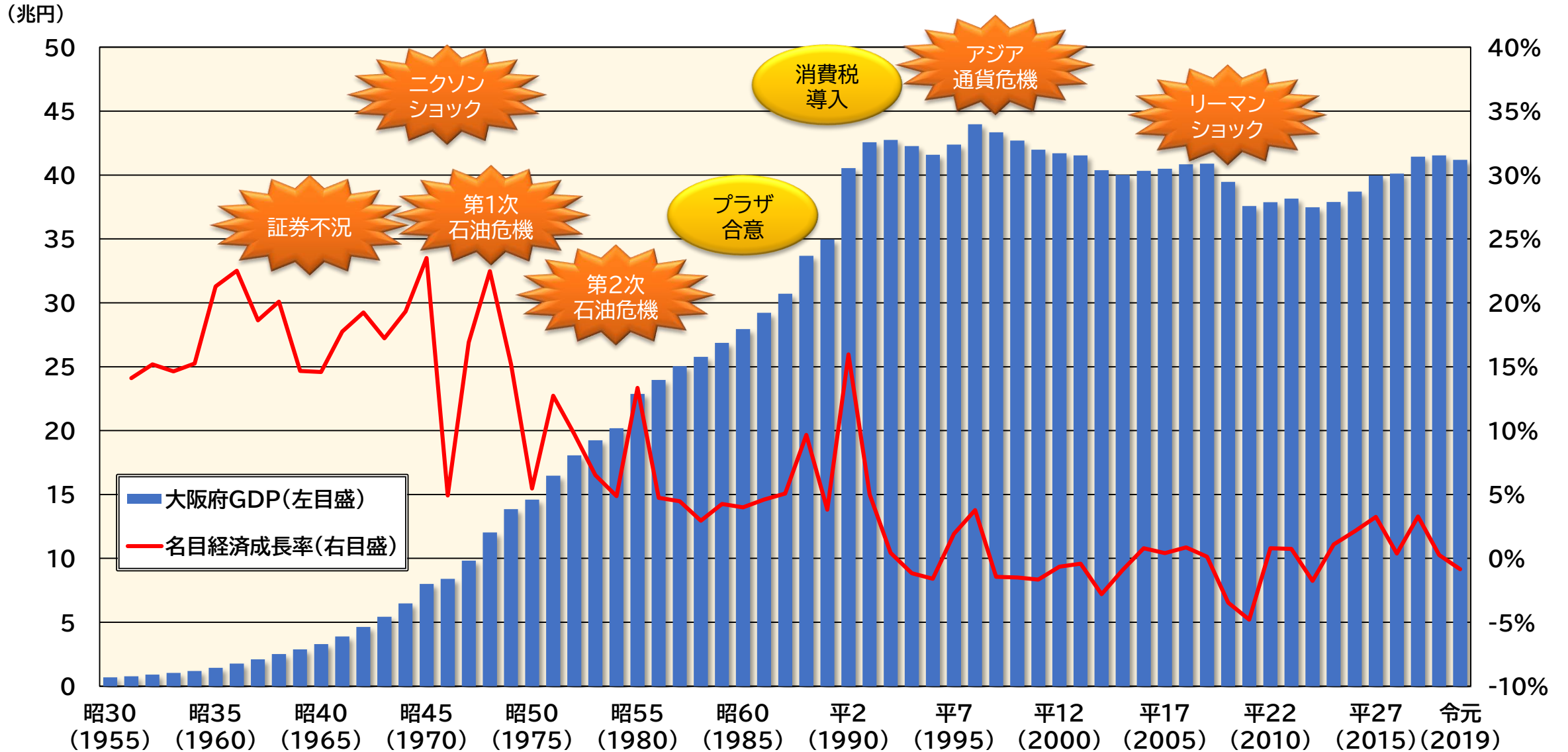
名目とは、実際に取引されている価格で表したもの

実質とは、物価変動の影響を除いたもの

令和元年度(2019年4月～2020年3月)はこんな年

- ・「令和」に改元(5月)
- ・G20大阪サミット開催(6月)
- ・百舌鳥・古市古墳群が世界文化遺産に登録(7月)
- ・ラグビーW杯2019開幕(9月)
- ・消費税率10%に引上げ(10月)
- ・国内初の新型コロナウイルス感染者を確認(1月)
- ・首相が3月2日から春休みまで休校を要請(2月)
- ・WHOがパンデミック宣言(3月)

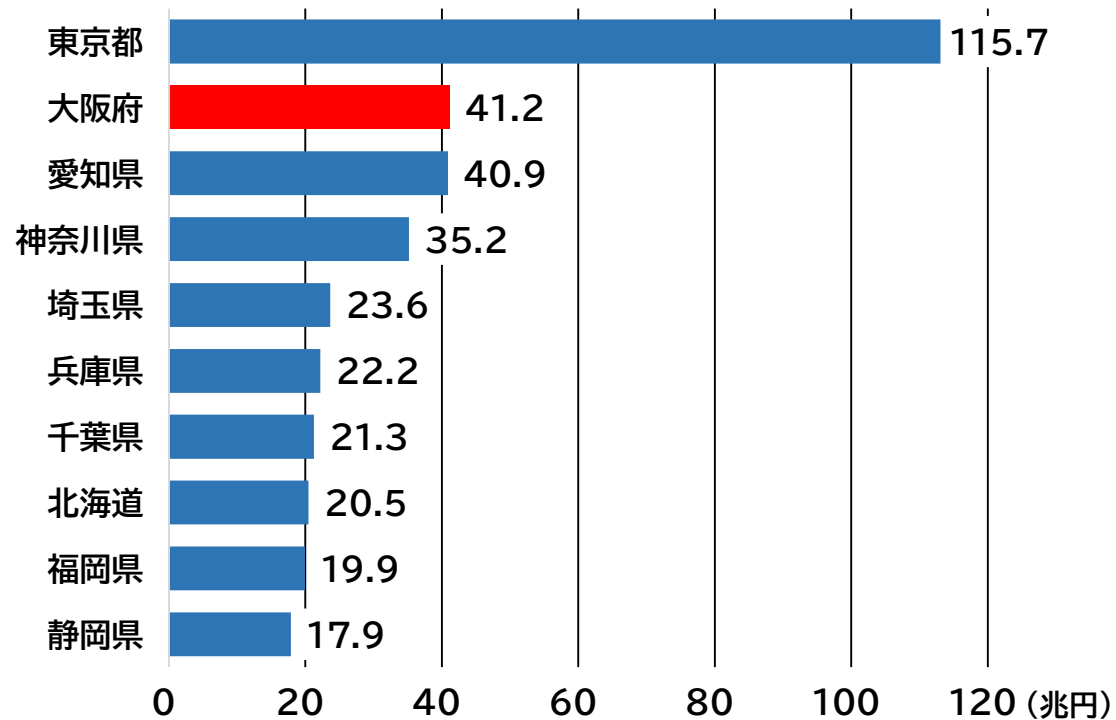
# 大阪府GDPと名目経済成長率の推移



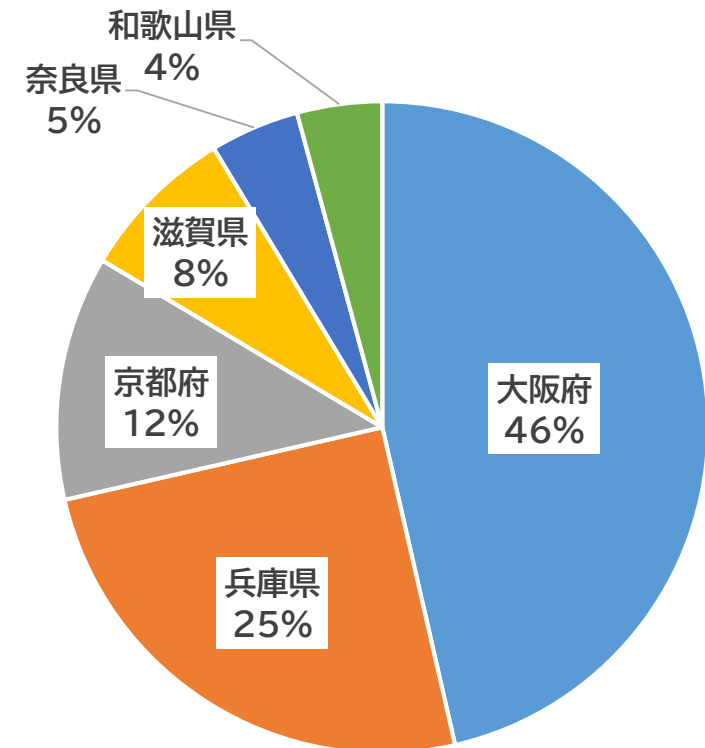
# GDPの都道府県比較

- ✓ 大阪府のGDPは第2位(令和元年度に8年ぶりに愛知県を逆転)
- ✓ 大阪府は近畿2府4県のGDPの約半分を占める

【各県のGDP(2019年度,上位10県)】



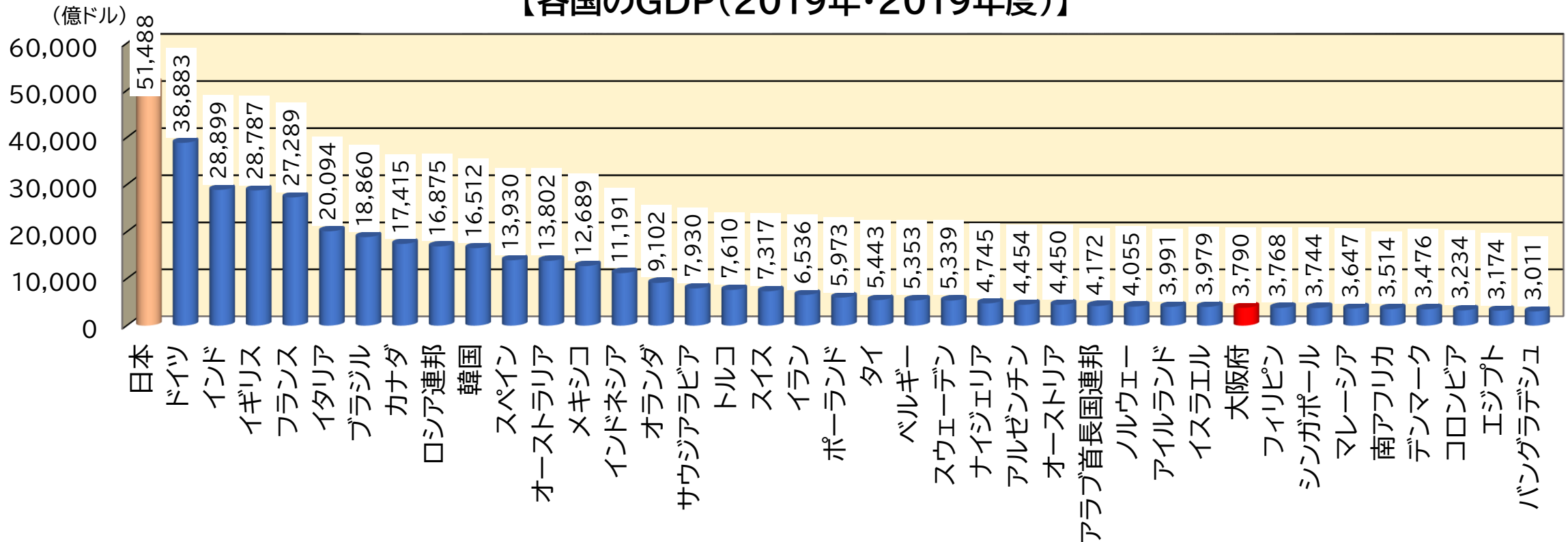
【近畿2府4県のGDPの構成比(2019年度)】



# GDPの国際比較

✓ 大阪府のGDPはフィリピンやシンガポールと同程度

【各国のGDP(2019年・2019年度)】



(注1)大阪府は2019年度値を1ドル=108.68円で換算、大阪府以外は2019暦年値。

(注2)アメリカ(213,726億ドル)と中国(142,800億ドル)は視認性に配慮して表章していない。

[出典]国際連合 - National Accounts - Analysis of Main Aggregates より作成

# 大阪府民経済計算でみる医療・福祉 ～導入～

- ✓ 大阪府民経済計算では、産業別のGDPも表章
- ✓ 医療・福祉に該当するのは「保健衛生・社会事業」
- ✓ 保健衛生・社会事業には、以下のような事業所が含まれる；



## 医療業

- 病院
- 診療所
- 歯科医院
- 調剤薬局 など



## 保健衛生

- 保健所
- 健康相談施設
- 検疫所
- 食肉衛生検査所 など



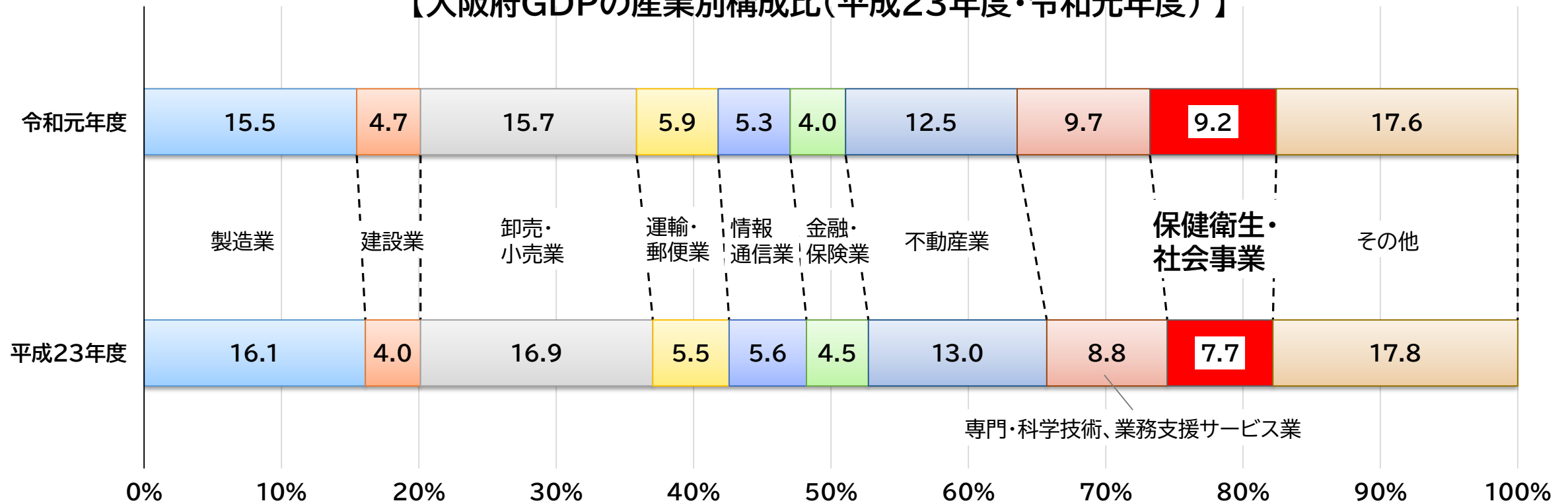
## 社会福祉・介護事業

- 保育所
- 児童相談所
- 老人ホーム
- デイサービスセンター
- 訪問介護事業所
- 障がい者支援施設
- 更生保護施設
- 社会福祉協議会 など

# 大阪府GDPの産業別構成比

✓ 大阪府のGDPの産業別構成比を平成23年度と比べると、  
保健衛生・社会事業のウェイトが最も上昇

【大阪府GDPの産業別構成比(平成23年度・令和元年度)】

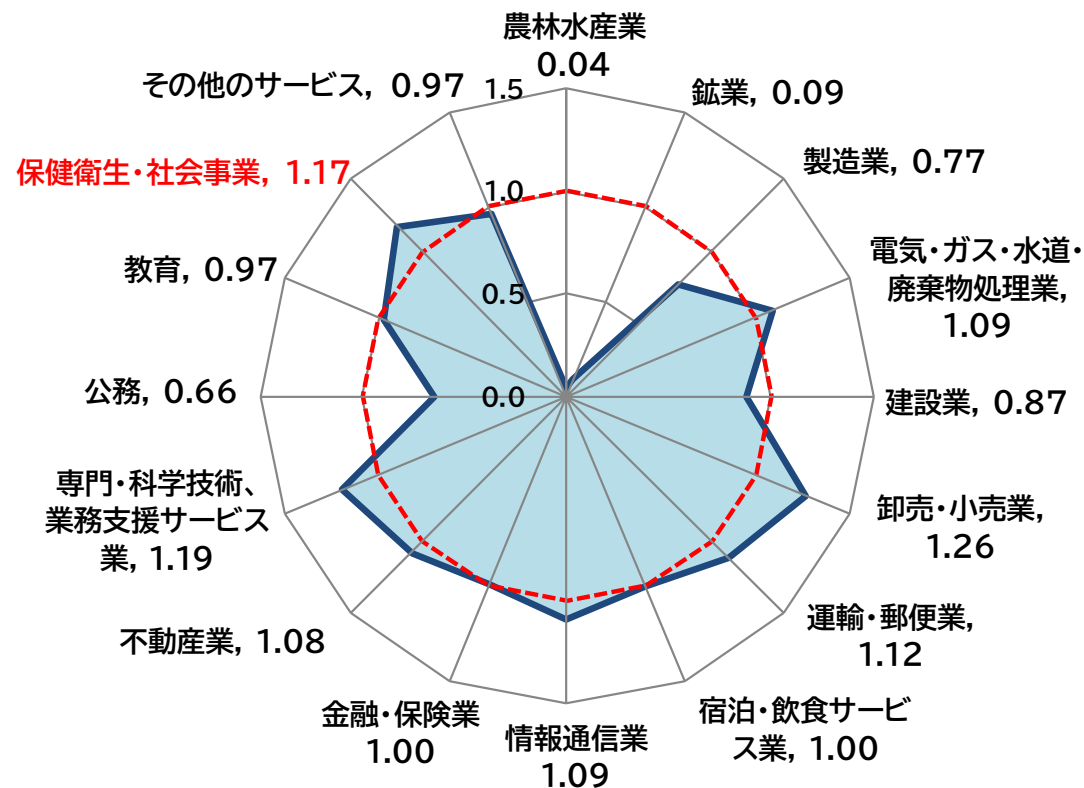




# 大阪府GDPの特化係数

✓ 保健衛生・社会事業の特化係数は1.17と、卸売・小売業(1.26)、  
専門・科学技術、業務支援サービス業(1.19)に次いで高い。

【大阪府GDPの特化係数(令和元年度)】



## 特化係数とは？

- ある地域の特定の産業の相対的な集積度、つまり強みを見る指数
- 次のように計算する  
$$\text{産業Aの特化係数} = \frac{\text{大阪府における産業Aの構成比}}{\text{全国における産業Aの構成比}}$$
- 1を超えると、全国平均より集積していると言える

# 産業別GDPの増減率の推移

✓ 保健衛生・社会事業のGDPは8年連続でプラス成長

【主な産業のGDP増減率の推移(H24～R元年度)】

(単位:%)

	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R元
産業計	△ 1.8	1.1	2.1	3.3	0.4	3.3	0.3	△ 0.8
製造業	△ 3.4	△ 0.4	4.5	3.9	△ 1.9	6.9	△ 0.2	△ 5.1
建設業	△ 6.1	4.2	3.3	5.0	7.3	6.6	△ 0.7	3.8
卸売・小売業	△ 0.1	2.3	△ 1.6	△ 0.0	△ 2.1	4.0	0.1	△ 1.9
運輸・郵便業	2.0	4.3	△ 0.9	3.3	2.1	3.2	2.8	△ 2.1
情報通信業	△ 1.3	0.3	△ 0.5	3.4	1.4	△ 1.0	1.9	△ 3.2
金融・保険業	△ 3.0	3.1	△ 1.4	0.4	△ 5.0	1.9	0.4	0.1
不動産業	△ 3.2	△ 2.8	1.1	4.2	2.9	2.1	△ 3.4	3.3
専門・科学技術、業務支援サービス業	△ 4.0	1.9	3.8	8.0	3.9	1.3	3.7	△ 0.5
保健衛生・社会事業	4.7	3.5	1.4	7.7	2.9	0.3	1.6	4.1

(注)赤はプラス成長、青はマイナス成長を示す。また、色が濃いほど増減率(の絶対値)が大きいことを示す。

# 大阪府民経済計算でみる医療・福祉 ～まとめ～

医療・福祉(=保健衛生・社会事業)を大阪府民経済計算で見ると、以下のことが分かった。

構成比が  
高まっている

全国平均  
より集積

GDPが  
年々増加

# 大阪府統計課からのお願い

精度の高い統計は、皆様の協力により成り立っています。  
ご協力をお願いします。

